

## 式 辞

梅の蕾も膨らみ始め、春の息吹が感じられる今日の佳き日、多数のご来賓のご臨席を賜り、滋賀県立虎姫高等学校第65回卒業証書授与式をかくも盛大に挙行できますことは、卒業生はもとより本校にとりまして、この上ない慶びであります。ご多用の中、ご臨席賜りましたご来賓の皆様を高壇からではございますが、厚く御礼申し上げます。

また、本日ご列席をいただきました保護者の皆様、お子様のご卒業、誠におめでとうございます。このように立派に成長され卒業される姿をご覧になり、この3年間の様々な思いが胸をよぎり、感慨もひとしおとご推察申し上げます。この間賜りました本校への深いご理解と温かいご支援に深く感謝申し上げます。

さて、ただ今、卒業証書を授与しました196名の皆さん、卒業おめでとう。皆さんは本校へ入学以来、質実剛健の校風のもと、文武両道をめざし、勉学、部活動、そして学校行事にと一生懸命取り組んで来られました。皆さんの3年間の努力が実を結び、ここに晴れて卒業の日を迎えられましたことを心からお祝いいたします。

今日の卒業式が迎えられるのも、自分だけの力ではなく、保護者の皆様や多くの人の支えや励ましがあつたからこそであり、お世話になった方々への感謝の気持ちを忘れないでいただきたいと思ひます。

さて、本校は、「確かな学力と豊かな人間性、そして強い精神力と体力を備えた『真の実力』を持つ人材の育成」に力を注いでいます。皆さんは入学してまもなく、若狭青少年自然の家で1泊2日の体験学習を行い、カッター活動や野外炊飯を通して友情を育みました。2年生夏の高大連携講座では、滋賀医科大学や滋賀県立大学、金沢大学において、高度な学問に触れ、学ぶことの楽しさや学問の深さを体験しました。3年生では部活動や学園祭においてリーダーシップを発揮し、下級生の模範となる素晴らしい活躍を見せてくれました。

つらいこともありました。それは保健体育の小林由明先生や友との悲しい別れでした。

夏の暑さ、冬の寒さにもめげず、職員室前の廊下で黙々と勉強する姿、土曜日、日曜日にも学校の図書館で勉強する姿に、皆さんの目標に向けた強い意志を感じました。

本日は皆さんにとって新たな人生のスタートとなる日であります。門出を祝して、私の思いを述べ、餞のことばとしたいと思います。

1つ目は「忍耐強い、幅広いものの見方ができる人になってほしい」ということです。今の日本は少子高齢化、経済不況、社会格差の増大、原子力などのエネルギー問題、そして環境問題など非常に多くの難しい問題に直面しています。現在は未来予測不能の時代とも言われています。この時代に必要とされる力とは、どのような状況になっても生き抜いていける力です。その力の大きな部分に忍耐強いことと、広いものの見方ができることがあると思ひます。

「忍耐強い人」とは困難に遭ってもへこたれない人、あきらめない人のことです。学びにおいても仕事においても辛抱強く取り組めば、きっと夢を叶えられると思ひます。簡単に答えの出ない難題に立ち向かい、解決していくためには、時間をかけて忍耐強く、幅広く物事を考えていくことができなければなりません。作家の高村 薫さんは、「考えるという行為そのものが生きるということ。考え続けているという時間が人間が活着しているということである」と、あるインタビューの中で述べています。考える。これでいいのかと、また考える。答えを求め考え続けることによって、私たち人間はより良い社会を創り出していくことができるのだと思ひます。

2つ目は「自分が当たり前だと思っていることを当たり前だとは思わない人との出会いを大切にしてほしい」ということです。それは実在の人物でもよいし、歴史上の人物でも、本の著者でもよい。このことがいかに大切であるかを哲学者の鷲田清一さんは、自らの体験から次のように述べています。「同じものを見ていのに違う問い

をしている哲学者との出会いがあった。今まで自分が当たり前だと思っていたことが  
どんどん壊されていく喪失感とわくわくする高揚感が入り混じった感覚になった。今  
まで狭い世界にいたのが出会いによって見晴らしのよい広場に出た気持ちになっ  
た。

これから先、大学にそして社会に進まれると、多くの人々との出会いが待ってい  
ます。自分の価値観や魂を揺さぶるような人たちと出会えるか。このことはとても大  
事なことだと思います。幸運な出会いが、きっと皆さんの学びや仕事への意欲を高め、  
人生を豊かしてくれることでしょう。

さて、本日をもって高等学校の課程は終了しますが、皆さんの学びはこれからも生  
涯に渡って続いていきます。「学び」は、人から強制されるものではなく、自らの欲  
求と意志によって行われるべきものです。皆さんには、本校での学習を基礎に、こ  
れからも学びの道をいそしみ進まれんことを期待します。

未来の我が国の担い手である皆さんが、虎姫高校の卒業生であることに誇りを持ち、  
将来、社会の各方面でリーダーとして活躍していただくことを願ってやみません。

最後に、虎姫高校は皆さんにとって青春時代を過ごされた学舎であり、第二の故郷  
であります。皆さんが受け継いだ「質実剛健」、「方円自在」、「独立自尊」の精神は  
これからも後輩達に受け継がれていくことでしょう。嬉しい時、つらい時、母校を思  
い出してください。

卒業生の皆さんの前途洋々たる未来を祝福するとともに、ご健康とご多幸、そして  
ご活躍を心からお祈りし、式辞といたします。

平成25年3月1日  
滋賀県立虎姫高等学校長  
西嶋 博純